

ILSI Japan 活動報告 < 2009 >

食品安全研究会

食品安全研究会全体

1, 2 月	ILSI Japan 監査：担当事業活動説明 1/23、執行委員会 1/28、部会長会議 1/29、理事会 2/2
3, 4 月	担当事務局次長交代（4 月度より峯 岩田）に伴う引き継ぎ等
5, 6 月	
7, 8 月	
9, 10 月	
11, 12 月	食品安全研究会、2009 年度活動実績および 2010 年度活動計画の作成 2010 年 2 月 2 日に部会長ミーティングの開催を予定

ILSI Japan 活動報告 <2009>

食品安全研究会

【食品安全調査研究部会】

1, 2 月	特記事項なし
3, 4 月	e-mail 情報の発信： ・「とさつにおけるピッシング行為の禁止について」(3月26日発信) ・「新型インフルエンザに関する情報について」(4月28日発信)
5, 6 月	活動なし
7, 8 月	活動なし
9, 10 月	活動なし
11, 12 月	活動なし

食品安全研究会

【食品アレルギー研究部会】

1, 2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1/13 国立相模原病院・今井先生との懇談 翻訳論文 Article on Hazard Characterization in Food Allergen Risk Assessment: (<i>Food and Chemical Toxicology</i> 2007; 45: 691-701) のサマリースライド説明 (岩本様)、 討議 ・ 次回は 3/12 第 1 回例会開催予定
3, 4 月	<p>食品アレルギー研究部会・第 1 回例会 3/12</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2008 年活動報告 (三栄源・鈴木) 2. アレルギー物質を含む食品の表示 ~ 業者用パンフレットの改訂学習会 3/10 の聴講報告 (味の素・天明) 3. 国立相模原病院・今井先生との懇談報告 (日本における食物アレルギー閾値の推定) 1/21 (森永乳業・岩本) 4. 今期のテーマ討議 <p>次回例会は 7 月予定、5/18 今井先生との 2 回目の懇談予定</p>
5, 6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5/18 「日本人小児の実際的な三大アレルギー閾値について」 今井孝成先生 (国立病院機構・相模原病院・小児科) と面談 ・ 次回の相模原病院訪問予定 : 7/22 pm5:00 から
7, 8 月	<p>第 3 回 国立相模原病院・今井先生との懇談 (日本における食物アレルギー閾値の推定) 7/22、次回懇談予定日 9/9</p>
9, 10 月	<p>10/26 第 2 回例会 :</p> <p>EFSA report、文献「文献データの統計解析による閾値決定」紹介 (鈴木)</p> <p>国立相模原病院との共同研究、経過説明 (岩本)</p> <p>新役員決定 部会長は塚田、副部会長は岩本、鈴木はオブザーバー会員として参画</p>
11, 12 月	<p>国立相模原病院との共同研究、食物アレルギー患者への負荷試験データの統計学的解析 (最大無作用量の推定) を継続中</p>

食品安全研究会

【食品微生物研究部会】

1, 2 月	<p>部会全体会議 (2/9, 10:30-12:30, ILSI-Japan 本部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働科学研究の08年度進捗報告と09年度進め方の議論 厚生労働科学研究 ・工藤先生との意見交換 (2/2, 国立衛生研) ・関係企業からの意見収集の実施 (2月下旬) 毒性学教育講座 (食品リスク研究部会と共催) ・第3回開催 (2/9, 14:30-17:00, 講師: 福島昭治先生)
3, 4 月	<p>1. 部会全体会議 (4/13, 10:00-12:00, ILSI Japan 事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働科学研究についての09年度進め方の議論 次回全体会議 (5/25 予定) にて実験計画などの具体化予定 <p>2. 毒性学教育講座 (食品リスク研究部会と共催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4回開催 (4/13, 14:00-17:00, 講師: 鰐淵英機先生)
5, 6 月	<p>1. 部会全体会議 (5/25, 13:00-17:00, ILSI Japan 事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働科学研究についての09年度実験計画の具体化 <p>2. 毒性学教育講座 (食品リスク研究部会と共催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5回開催 (6/22, 14:00-17:00, 講師: 中江大先生) <p>3. 次回部会全体会議: 8/3, 13:00 ~ 今後の活動方針の議論を予定</p>
7, 8 月	<p>部会全体会議 (8/3, 13:00-15:00, ILSI Japan 事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働科学研究についての09年度課題の進捗確認 ・今後の活動内容具体化の進め方 次回部会全体会議: 12月初旬 ・今後の活動内容、厚生労働科学研究の議論を予定
9, 10 月	<p>次期活動テーマの具体化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の活動テーマ案についての意見収集 (9月)、まとめ (10月) 毒性学教育講座 (食品リスク研究部会と共催) ・第6回開催 (9/7, 15:00-17:00, 講師: 鰐淵先生) ・第7回開催 (10/19, 14:00-17:00, 講師: 鎌滝先生) ・次回部会全体会議: 12/2, 13:00 ~ 今後の活動テーマ案、厚生労働科学研究の議論を予定
11, 12 月	<p>2010年度活動計画の具体化 (部会全体会議 (12/2, 13:00 ~))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存テーマの厚生労働科学研究への参画と毒性学教育講座の開催は継続。後者については開催済み講座内容の情報発信を行う。 ・新規テーマとして以下の2課題に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・微生物試験法のグローバル動向に関する情報発信 ・食品・飲料の有害微生物に関する情報発信 ・毒性学教育講座 (食品リスク研究部会と共催) ・第8回開催 (12/7, 14:00 ~ 17:00, 講師: 鎌滝先生) ・次回部会全体会議: 3/3, 13:00 ~ 新規テーマの具体的な進め方、厚生労働科学研究

の議論を予定 >

【食品リスク研究部会】

<p>1, 2 月</p>	<p>09年第1回運営会議開催 (2/16, 13:30-16:30, ILSI事務局) 09年活動計画について 毒性学教育講座 (食品微生物研究部会と共催) 第3回開催 (2/9, 14:30-17:00, サントリー会議室) 講師: 日本バイオアッセイ研究センター 福島昭治先生 テーマ: 下部消化器毒性、泌尿器系毒性、参加者 33名 「イルシー」誌投稿: フラッシュ・レポート「ILSI Japan 毒性学教育講座」の紹介 < 次回運営会議: 4/20, 13:30-16:30 (ILSI Japan 事務局) ></p>
<p>3, 4 月</p>	<p>1. 09年第2回運営会議開催 (4/20, 13:30-16:30, ILSI Japan 事務局) ・勉強会のテーマ選定 (i 食品中の砒素、重金属 ii アレルギー表示に関する考え方、iii ナノテクノロジー素材の安全性の最新情報・・・について検討を進める) ・情報収集のためのURLリストの作成 部会員専用サイトに掲載 ・毒性学教育講座の出版原稿の準備 まずテープ起こしから開始 ・ILSI Japan ホームページの活用 会員専用ページのパスワード等の問題あり、事務局担当者に確認必要 ・岩田 ILSI Japan 事務局次長の参画 今後とも参画いただける 2. 第4回毒性学教育講座 (食品微生物部会と共催) 開催 (4/13, 14:00-17:00, サントリー会議室) 講師: 大阪市立大学医学部大学院教授 鰐淵英機先生 テーマ: 肝毒性、参加者 33名 次回運営会議: 6/22, 10:00-12:00, サントリー会議室</p>
<p>5, 6 月</p>	<p>1. 09年第3回運営会議開催 (6/22, 10:00-12:00, サントリー会議室) ・勉強会のテーマ選定 (i 食品中の砒素、重金属 ii アレルギー表示に関する考え方、iii ナノテクノロジー素材の安全性の最新情報について検討を進めた) ・情報収集のための URL リスト、「食品安全情報サイト集」を作成 (現在作成中の部会員専用サイトに掲載予定) 2. 第5回毒性学教育講座 (食品微生物部会と共催) 開催 ・6/22, 14:00-17:00, サントリー会議室 ・講師: 東京都健康安全研究センター参事研究官 中江大先生 ・テーマ: 酸化的ストレスによる毒性、参加者 33名 次回運営会議: 9/7, 11:00-14:00, サントリー会議室</p>
<p>7, 8 月</p>	<p>部会開催は無 毒性学教育講座 ・免疫毒性の講師は未定であったが、免疫毒性学の権威であられる大沢基保 (オオサワ モトヤス) 先生にお願いすることが出来た。先生の講義は来年以降の予定。 ・第6回講座開催予定 (9/7, 大阪市大鰐淵秀樹教授)、第7回講座 (10/19 鎌滝 徹也北海道大学名誉教授) 次回以降部会予定 (9/7, 12/7)</p>
<p>9, 10 月</p>	<p>09年第3回運営会議開催 (9/7, 11:00-14:30, サントリー会議室)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会のテーマ選定：重金属について、CODEX の汚染物質部会についての勉強会を行った（講師は岩田氏）。 ・情報収集のための URL リストの検討 ・毒性学教育講座の進捗報告 <ul style="list-style-type: none"> 毒性学教育講座（食品微生物部会と共催）開催 ・第 6 回（9/7, 15:00-17:00, サントリー会議室） <ul style="list-style-type: none"> 講師：大阪市立大学医学部大学院教授 鱶淵英機先生 テーマ：砒素の毒性、参加者 22 名 ・第 7 回（10/19, 14:00-17:00, サントリー会議室） <ul style="list-style-type: none"> 講師：北海道大学名誉教授 鎌滝哲也先生 テーマ：薬物代謝の基礎、参加者 32 名 <p>次回運営会議：12/7, 10:00-, サントリー会議室</p>
11, 12 月	<p>09年第4回運営会議開催（12/7, 10:00～11:50, サントリー）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毒性学教育講座について ・08年度活動報告 / 09年度活動計画について <p>部会内勉強会開催（12/7,12:50～13:30, サントリー）</p> <p>講師：アサヒビール株 望月直樹氏</p> <p>テーマ：LC-MS/MSの測定の問題点、参加者16名</p> <p>毒性学教育講座（食品微生物研究部会と共催）第 8 回開催</p> <p style="text-align: right;">（12/7, 14:00～17:00, サントリー）</p> <p>講師：北海道大学名誉教授 鎌滝哲也先生</p> <p>テーマ：薬物代謝の基礎（第 2 回）、参加者 32 名</p> <p>< 次回運営会議：2/15, 13:30～16:30（ILSI Japan 事務局） ></p>

【バイオテクノロジー研究部会】

1, 2 月	ILSI 本部総会の IFBiC 会議に岩元理事に出席をしていただく。報告は「イルシー」誌執筆中。-植物分科会タスクフォース・リーダー会議を 1 回開催。
3, 4 月	末木が ILSI 本部訪問、今後の連絡のスムーズ化のために名刺交換が目的。3月13日 植物分科会第 1 回勉強会開催。場所：事務局会議室、参加者：16 名。
5, 6 月	6 月 30 日 植物分科会第 2 回勉強会開催。場所：事務局会議室、参加者：15 名。
7, 8 月	9 月にスイスで開催予定の環境問題会議への、筑波大・佐藤忍教授の派遣対応
9, 10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・筑波大・佐藤忍教授にスイスでの環境影響ワークショップ (IOBC ワークショップ) に出席していただいた < 9 月 >。 ・9 月 10 日：第 3 回植物分科会開催。 ・10 月 21 日：2010 年 2 月開催予定の第 2 回 ISO および AOAC 共催 Sampling Detection Method (ISO/TC34/SC16) 国際会議の ILSI Japan 主催ポスト・シンポジウムについて、ILSI 本部および IFBiC との電話会議。
11, 12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・2010 年 2 月開催予定の第 2 回 ISO および AOAC 共催 Sampling Detection Method (ISO/TC34/SC16) 国際会議の ILSI Japan 主催ポスト・シンポジウムについて、ILSI 本部および IFBiC との電話会議 (11/20)。 ・筑波大・佐藤忍教授のスイスでの環境影響ワークショップ (IOBC ワークショップ) 出席報告会 (11/25)。 ・2010 年 2 月開催予定の第 2 回 ISO および AOAC 共催 Sampling Detection Method (ISO/TC34/SC16) 国際会議に向けた FAMIC による ISO 会議 (12/17)。 ・第 4 回植物分科会開催 (12/18)。

ILSI Japan 活動報告 <2009>

食品安全研究会

【香料研究部会】

1, 2 月	活動なし
3, 4 月	活動なし
5, 6 月	・ 部会開催なし 5 月 19 日、TTC について講演（岡村）。（NNFA ジャパン（日本栄養・食品協会、現在 AIFN 国際栄養食品協会 に名称変更）主催の教育セミナーにて。演題：「食品の安全性に関する一つの評価ツール～TTC（毒性学的懸念の閾値）について」）
7, 8 月	活動なし
9, 10 月	活動なし
11, 12 月	活動なし

【栄養研究部会】

1, 2 月	第 5 回「栄養とエイジング」国際会議の講演録の配布と、英語版の CD-ROM の配布作業を開始した。今後とも販促を進行させる。
3, 4 月	第 6 回「栄養とエイジング」国際会議の開催に向けて、今後検討を開始することが、平成 21 年度第 1 回理事会にて確認された。
5, 6 月	第 6 回「栄養とエイジング」国際会議を 2011 年に開催する方向で検討を開始し、計画案を事務局にて作成することが 6 月 9 日に開催された執行委員会と理事会合同会議にて審議され、了承された。
7, 8 月	7 月 24 日に開催された執行委員会において、第 6 回「栄養とエイジング」国際会議を 2011 年に開催する方向で検討を開始することが確認された。
9, 10 月	平成 21 年 10 月 21 日（水）第 6 回執行委員会にて、第 6 回「栄養とエイジング」国際会議の件が討議された。 ILSI Japan30 周年記念事業と並行して国際会議を開催する方向でまとまった。2011 年開催に向けて、実行委員が選任された。
11, 12 月	第 6 回「栄養とエイジング」国際会議の件は、12/3 の執行委員会および 12/4 の理事会にて、2011 年秋開催に向けたスケジュールの概略が説明、確認された。

* 肥満タスクフォース

1, 2 月	「日本人の肥満とメタボリックシンドローム - 栄養、運動、食行動、肥満生理研究 - 」の日本語版が完成した。また CD-ROM 版での英文版発行に向けて作成を終了し、2 月初旬に完成した。今後、本と英語版 CD-ROM のセット（500 部）での販売を促進していく予定。
3, 4 月	「日本人の肥満とメタボリックシンドローム - 栄養、運動、食行動、肥満生理研究 - 」の日本語版および CD-ROM 版での英文版が完成した。販売を促進していく予定。
5, 6 月	本タスクフォースがまとめた冊子「日本人の肥満とメタボリックシンドローム - 栄養、運動、食行動、肥満生理研究 - 」の販売促進を継続。
7, 8 月	本タスクフォースがまとめた冊子「日本人の肥満とメタボリックシンドローム - 栄養、運動、食行動、肥満生理研究 - 」の販売促進を継続。
9, 10 月	本タスクフォースがまとめた冊子「日本人の肥満とメタボリックシンドローム - 栄養、運動、食行動、肥満生理研究 - 」の販売促進を継続。
11, 12 月	本タスクフォースがまとめた冊子「日本人の肥満とメタボリックシンドローム - 栄養、運動、食行動、肥満生理研究 - 」の販売促進を継続。

栄養健康研究会

【炭水化物研究部会】

1, 2 月	GR プロジェクトと、2 つの分科会（果糖分科会、ダイエット分科会）を中心に、活動を進める。炭水化物の摂取と健康（肥満、生活習慣病）との関係を、ILSI Japan として明確にすることを目標としている。
3, 4 月	GR プロジェクトと、2 つの分科会（果糖分科会、ダイエット分科会）を中心に、活動を進める。炭水化物の摂取と健康（肥満、生活習慣病）との関係を、ILSI Japan として明確にすることを目標としている。
5, 6 月	GR プロジェクトと、2 つの分科会（果糖分科会、ダイエット分科会）を中心に、活動を進めてきた。炭水化物の摂取と健康（肥満、生活習慣病）との関係を、ILSI Japan として明確にすることを目標とした。
7, 8 月	GR プロジェクトと、2 つの分科会（果糖分科会、ダイエット分科会）を中心に、活動を進めてきた。炭水化物の摂取と健康（肥満、生活習慣病）との関係を、ILSI Japan として明確にすることを目標とした。
9, 10 月	GR プロジェクトと、2 つの分科会（果糖分科会、ダイエット分科会）を中心に、活動を進めてきた。炭水化物の摂取と健康（肥満、生活習慣病）との関係を、ILSI Japan として明確にすることを目標とした。
11, 12 月	GR プロジェクトと、2 つの分科会（果糖分科会、ダイエット分科会）を中心に、活動を進めてきた。炭水化物の摂取と健康（肥満、生活習慣病）との関係を、ILSI Japan として明確にすることを目標とした。

***GR プロジェクト**

1, 2 月	GR 測定をプロジェクト参加企業に依頼し、多施設での測定結果のバラツキを検討するリング試験を実施した。測定結果の集計作業を終えた後、2 月 6 日に会合を開きその結果の検討会を行った。
3, 4 月	GR リング試験の結果をとりまとめ中である。
5, 6 月	GR リング試験の結果をとりまとめ中。
7, 8 月	GR リング試験の結果をとりまとめ中。
9, 10 月	GR リング試験の結果をとりまとめ中。
11, 12 月	GR リング試験とりまとめ継続中。

***果糖分科会**

1, 2 月	1 月 9 日に果糖分科会を開催した。果糖分科会の内容について、レビューとしてまとめたので、それについて意見交換を行った。 2 月末に、原稿を修正して配信した。投稿先は日本食品新素材研究会誌とした。
3, 4 月	果糖についてのレビューに関して、分科会メンバーからの意見もふまえて修正・加筆した。この果糖についてのレビューは、食品新素材研究会誌に 4 月 27 日に投稿した。
5, 6 月	果糖に関する総説を日本食品新素材研究会誌に 4 月末に投稿したが、6 月初旬にレフ

	リーからコメントがついて返送された。それについて、コメントに従い修正して、事務局に返送した（6/29）。
7, 8 月	食品新素材研究会誌に投稿した原稿について、編集事務局から指摘があり、一部修正し提出した。8 月 12 日に論文掲載通知を受領した。掲載は本年 12 月の予定。
9, 10 月	特に進展なし。
11, 12 月	果糖分科会の活動のまとめとして、果糖についての総説を「日本食品新素材研究会誌」に 4 月に投稿したが、その総説が 2009 年 12 月 15 日発行の同誌に掲載された。

* ダイエット分科会

1, 2 月	1/9 第 5 回分科会開催。 <i>Journal of Nutritional Science and Vitaminology</i> に投稿した論文の reviewer からのコメントに対する対応について協議。コメント対応論文は、2/3 に採択された。論文タイトルは以下の通り。 Is Glycemic Index of Food a Feasible Predictor of Appetite, Hunger, and Satiety? 掲載予定：55 巻 3 号（2009 年 6 月号）。 第 5 回をもって分科会としての活動は終了する。
3, 4 月	活動終了。 <i>Journal of Nutritional Science and Vitaminology</i> に投稿した総説のゲラ校正待ち。
5, 6 月	分科会の活動は、 <i>Journal of Nutritional Science and Vitaminology</i> , 55, 201-207, 2009 への総説掲載をもって終了。
7, 8 月	雑誌への掲載終了に伴い活動終了。
9, 10 月	活動終了。
11, 12 月	

【茶類研究部会・茶情報分科会】

1, 2 月	2月27日、2009年第1回茶情報分科会を実施、茶葉情報の調査表について進捗を確認。引き続き、武田善行先生（元（独）野菜茶業研究所）のご講演会 演題：日本における茶遺伝資源の収集・保存・特性調査の現状と今後のあり方 を開催した。
3, 4 月	活動なし。
5, 6 月	5月14日（木）茶情報分科会を実施。茶葉試料収集のための費用確保に関連して、利用者側のデータベースの価値、公開の方法等について議論を行った。
7, 8 月	7月9日（木）茶情報分科会を実施。ILSI Research Foundation 応募準備、ILSI データベースと他の茶成分データベースとのリンクの可能性、2010年国際 O-CHA 学術会議への参加可能な形式について議論した。
9, 10 月	第5回分科会を9月10日（木）に開催し、お茶データベース構築に関する武田先生との協力の可能性につき検討、第4回国際お茶学術会議への参画についての検討を開始した。
11, 12 月	茶情報分科会実施。ILSI 茶成分データベースにおける武田先生とのコラボの件、第四回国際会議お茶学術会議への参加対応の件、次年度活動計画の件、予算案等につき進捗報告および確認を行った（11/12）。

栄養健康研究会

【日本の食生活と肥満研究部会】

1, 2 月	1 月 15 日に全体会を開催し、2 月 17 日のシンポジウムの配布冊子内容、役割分担を確認。2 月 17 日に第 4 回ライフサイエンス・シンポジウムとして、成果発表会を開催。3 名の先生方からの情報提供及び 4 名のメンバーからの成果発表を行った。
3, 4 月	4 月 2 日(木)に第 15 回研究部会を開催。ライフサイエンス・シンポジウム後の報告書作成について論議。分科会によって、報告者作成についての認識(捉え方)の違いもあったが、最終的には、部会としてまとめた報告書作成の方向で進めることとした。次回会合(6 月 25 日)までに素案を作成。
5, 6 月	6 月 25 日(木)に第 16 回研究部会を開催。活動報告の論文化は分科会毎に雑誌を選択し、7 月末を目処に投稿することとした。その論文化の進捗状況を判断した上で、次回会合の日程を決定することとした。
7, 8 月	3 分科会ごとにとりまとめた内容を、雑誌へ投稿すべく継続進行中。
9, 10 月	3 分科会ごとにとりまとめた内容を、雑誌へ投稿すべく継続進行中。
11, 12 月	3 分科会ごとにとりまとめた内容を、雑誌へ投稿すべく継続進行中。

*** 発酵製品の多様性分科会**

1, 2 月	シンポジウムでは、「発酵食品・調味料に存在する成分が肥満の予防に与える影響」について紹介。岡田先生からは、発酵食品の多様性が味覚や風味に与える影響やヒトの健康に果たす機能について紹介いただいた。
3, 4 月	特になし。
5, 6 月	日本調理科学会誌「講座」への依頼原稿として、投稿。2010 年 4 月 20 日発行号に掲載される予定。
7, 8 月	継続中。
9, 10 月	継続中。
11, 12 月	継続中。

*** 脂質の種類分科会**

1, 2 月	シンポジウムでは、「肥満が複合的要因の結果であり、脂質が直接肥満につながるような報告は見られなかったことおよび肥満の第一要因は運動不足であると思われること。脂質は、健康維持には重要な栄養素の一つであり、欠乏は重大な弊害を及ぼすことも含め、正しい情報を国民に提供しなければならない」などを紹介した。
3, 4 月	特になし。
5, 6 月	日本栄養・食糧学会誌を第一候補として、論文投稿を進めていく。
7, 8 月	継続中。
9, 10 月	投稿原稿を提出、継続中。
11, 12 月	とりまとめ内容の投稿先を変更すべく検討中。

* 食事の量分科会

1, 2 月	シンポジウムでは、過体重者の割合と炭酸飲料の摂取量が正の相関を示し、文献から肥満と加糖飲料の関連が示唆されることを紹介。また、インターマップ研究から、肥満に關与する食事のパターンとして、夕食での脂肪エネルギー、動物性タンパク質エネルギー比率の高い食事が關与する可能性について紹介した。
3, 4 月	特になし。
5, 6 月	発酵製品分科会と同様の形での掲載（日本調理学学会誌）で話を進めることとした。INTERMAP 研究の方は、論文化を継続。
7, 8 月	継続中。
9, 10 月	継続中。
11, 12 月	継続中。

ILSI Japan 活動報告 < 2009 >

食品機能性研究会

1, 2 月	
3, 4 月	3月13日：BRAFO セミナー開催<(独)国立健康栄養研究所との共同セミナー>。 会場：(独)国立健康栄養研究所、参加者：30名。
5, 6 月	食品機能生研究会部会活動再開の趣意書を執行委員会に提出。受理される。7月から部会員募集開始。
7, 8 月	食品機能生研究会部会会員募集開始。 18社参画希望<8月末時点>。
9, 10 月	・9月29日；第1回食品機能生研究会部会開催。 ・10月29 - 30日：ブラッセルで開催された ILSI EU 主催 BRAFO ワークショップに部会員1名が出席。
11, 12 月	・第2回食品機能生研究会部会開催(11/27)。 ・リーダー会開催(12/9)。 ・BRAFO シンポジウム出席報告をイルシー誌へ投稿準備(山口氏)。 ・食品機能性研究会活動報告をイルシー誌へ寄稿準備(末木)。

ILSI Japan 活動報告 < 2009 >

CHP

CHP全体

1, 2 月	ニュースレター（英語版）発行（No.10）
3, 4 月	4/14 2008 年度活動報告会
5, 6 月	ILSI Japan HP の Update
7, 8 月	ニュースレター（日本語版・英語版）発行（No.11）
9, 10 月	
11, 12 月	

【Project PAN (Physical Activity and Nutrition)】

<p>1, 2 月</p>	<p>テイクテン (TAKE10!) 1/6, 13, 14, 15, 16, 22 「すみだテイクテン フォローアップ教室」(墨田区 6 会場) 1/8 『TAKE10! DVD 応用編 (仮)』最終試写 1/19 『TAKE10! DVD 応用編 (仮)』最終ナレーション録音 MA 1/21, 22, 23 益田市介護予防リーダー養成講座 (講師: 木村美佳、島根・益田市) 2/3, 10, 19, 20, 25, 26 「すみだテイクテン フォローアップ教室」(墨田区 6 会場) 2/4, 5 益田市介護予防リーダー養成講座 (講師: 木村美佳、島根・益田市) リズムテン (LiSM10!) 1/26 「LiSM10!」カウンセラー養成研修 (講師: 丸山千寿子、木村美佳、ILSI Japan 会議室) 2/2 「LiSM10!」カウンセラー養成研修: 追加研修 (講師: 木村美佳、ILSI Japan 会議室)</p>
<p>3, 4 月</p>	<p>3/19 「すみだテイクテン」フォローアップ教室案内発送 (対象 242 人) 4/20 「すみだテイクテン」ボランティアスタッフ説明会 4/24~27 「TAKE10!®」通信教育介入研究評価 (北海道・日高町、真狩村)</p>
<p>5, 6 月</p>	<p>テイクテン (TAKE10!®) 5/7~8 津和野町介護予防リーダー養成講座 (講師: 木村美佳、島根・津和野町) 5/19, 21, 22, 26, 27, 28 「すみだテイクテン フォローアップ教室」(墨田区 6 会場) 6/16~19 益田市介護予防リーダー養成講座 (講師: 木村美佳、島根・益田市) 6/16, 18, 19, 23, 24, 25 「すみだテイクテン フォローアップ教室」(墨田区 6 会場) 公開セミナー (8/1) の案内状を自治体担当者等に送付 (500 通) 「TAKE10!®」DVD 応用編ダイジェスト版製作</p>
<p>7, 8 月</p>	<p>テイクテン (TAKE10!®) 7/10 DVD 応用編ダイジェスト版 レコーディング (7 月末完成) 7/17, 21, 22, 23, 28, 30 「すみだテイクテン フォローアップ教室」(墨田区 6 会場) 7/21 ~ 益田市内 4 箇所の振興センター (公民館) から、益田市シルバー人材センターが介護予防教室の委託を受け、活動を開始 (テイクテン介護予防活動リーダー講習を受講したリーダーによる教室開催) 8/1 公開セミナー「これからの介護予防を考える」 (講師: 厚労省東内氏、熊谷修先生他 KFC ホール・両国) 参加者数 約 90 名 8/25~26 津和野町介護予防リーダー養成講座 (講師: 木村美佳、島根・津和野町) 8/25 津和野町シルバー人材センター介護予防事業特別講演会 「これからの介護予防のために~テイクテンでいつまでも元気~」 (講師: 熊谷修先生 島根・津和野町)</p>

	<p>主催：津和野町シルバー人材センター 共催：津和野町 後援：津和野町社会福祉協議会 山陰中央新報社 8/26 岩国市社会福祉協議会錦町支部主催 講演会 「自立高齢者の介護予防を目指して～テイクテンでいつまでも元気～」 （講師：熊谷修先生 山口・岩国市） 8/28 墨田区高齢者福祉課主催 すみだテイクテン 栄養講演会 「最新研究が教える食事の秘訣～高齢者は肉も脂も食べよう～」 （講師：熊谷修先生 東京・墨田区）</p>
9, 10 月	<p>テイクテン (TAKE10!®) 9/8, 15, 17, 18, 24, 29, 30 「すみだテイクテン第5期講習会(初心者向)」(墨田区6会場) 9/1, 3, 4, 10, 16, 29 「すみだテイクテン フォローアップ教室」(墨田区6会場) 10/2, 6, 8, 13, 14, 15, 20, 22, 27, 28, 29, 30 「すみだテイクテン第5期講習会(初心者向)」(墨田区6会場) 10/1, 6, 8, 21, 23, 27 「すみだテイクテン フォローアップ教室」(墨田区6会場) 10/21~23 第68回日本公衆衛生学会 ポスター発表 「運動及び食習慣の改善のための介入が生活機能維持に及ぼす影響」(奈良)</p>
11, 12 月	<p>テイクテン (TAKE10!®) 11/2, 10, 11, 12, 19, 20, 25, 26 「すみだテイクテン第5期講習会(初心者向)」(墨田区6会場) 11/2, 11, 12, 19, 24, 27 「すみだテイクテン フォローアップ教室」(墨田区6会場) 12/1, 3, 4 「すみだテイクテン第5期講習会(初心者向)」(墨田区6会場) 12/8, 10, 16, 18, 22, 24 「すみだテイクテン フォローアップ教室」(墨田区6会場) 11/24 江戸川人生大学 介護・福祉学科講義「介護予防」(講師：木村美佳)(江戸川区船堀) リズムテン (LiSM10!®) 11/11~13 生活習慣病対策展にて LiSM10!®の紹介(株)ニチレイフーズ(東京ビッグサイト)</p>

【Project SWAN (Safe Water and Nutrition)】

1, 2 月	1/2~5 栄養調査 (ナンディン省チュンタン村) 2/11~13, 17~19, 24 母親、水管理組合対象のフォーカスグループ・ディスカッション (3 対象地域にて)
3, 4 月	3 月 Project SWAN 最終報告書完成
5, 6 月	6 月 JICA の平成 21 年度草の根技術協力事業 (草の根パートナー型) に下記のタイトルで提案書提出 「地方行政機関の能力向上を通じた安全な水の供給と栄養改善プロジェクト」
7, 8 月	7/24 SWAN2 提案書に関する JICA との質疑応答会議
9, 10 月	9/8 Project SWAN2 の紹介 (対象: ベトナム保健省、地方給水センター、国立栄養研究所) 10/3-5 Community Development Journal 主催の国際会議にて 発表 (発表者: 東大・神馬先生) 「水管理組合能力向上のためのボトムアップファシリテーション」 (ロンドン) 10 月 “ Survey of food hygiene practices at home and childhood diarrhoea in Hanoi, Vietnam ” が <i>Journal of Health, Population and Nutrition</i> , 2009 Oct 27 (5) 602-611 に掲載
11, 12 月	12/3 ~ 6 アジア太平洋地区公衆衛生学術連合 (APACPH) 国際学会発表 「Improved food selection of mothers on complementary feeding practice in Vietnam」 (発表者: Dao To Quyen ベトナム国立栄養研究所) (台北・台湾)

【Project IDEA (Iron Deficiency Elimination Action)】

1, 2 月	1/18~2/1 カンボジア・カンポット州における、市販の鉄強化魚醤の認知度、購買行動商品評価等に関する市場調査(戸別訪問法)、および現地カウンターパート(RACHA)が担当する Social Marketing の実態調査を実施。
3, 4 月	4 月 IEC プログラムの評価調査を実施
5, 6 月	5/13 Micronutrient Forum 2009 (北京)の ILSI サテライトシンポジウムにて IDEA の中国、ベトナム、フィリピンでの活動に関する講演(戸上) 6 月 JICA の草の根協力事業(緊急経済危機対応 - 包括型)に下記のタイトルで提案書提出 「ヘルスセンタースタッフ及びヘルスポランティア育成による母子栄養改善プロジェクト」
7, 8 月	カンボジア 8/1~7 食事摂取量に関するワークショップ開催(プノンペン) 8/8~24 貧血罹患率と食事摂取状況の 24 か月調査(カンポット) フィリピン 8/19 バタアン省全体でテストマーケットを行うため、日本の農林水産省からの(太陽化学に対する)支援事業費採択
9, 10 月	9/22-24 鉄強化米に関する第 1 回調整会議(FNRI、アギラ社、太陽化学(株)、(株)サタケ、ILSI)。プレミックスの製造設備の設置を完成し 12 月中の生産を目指すことを決定(マニラ・フィリピン)。 10/9 ILSI India と共同で鉄とリジン強化した小麦粉の導入に向け、調整会議(バンコク・タイ)。 9-10 月: NIN と共同で鉄強化米のエフィカシースタディのための介入試験のプロトコルを完成(ベトナム)。 引き続き、鉄強化魚醤の製造と普及活動進行中(カンボジア)。
11, 12 月	

ILSI Japan 活動報告 < 2009 >

国際協力委員会

1, 2 月	
3, 4 月	活動なし
5, 6 月	・ 7 月 17 日に委員会開催予定。活動を再開する。
7, 8 月	第 2 回委員会開催 (8/11, 15:00-17:00 ILSI Japan 事務局) ・ EAP 進め方の検討 ・ 第 1 回 BeSeTo 会合対応検討 第 1 回 BeSeTo 会合 (8/26-27, Korea University) ・ ILSI Japan より 4 名参加 (詳細は別途「イルシー」誌に掲載予定) ・ 次回は来年、中国にて開催、再来年は日本で開催予定 次回委員会開催予定 (9/24)
9, 10 月	第 3 回委員会開催 (9/24, 14-17 ILSI Japan 事務所) ・ 第 1 回 BeSeTo 会合報告 ・ 東アジアプロジェクト ILSI SEA との会合内容検討 ILSI SEA 会合 (10/13, シンガポール SEA 事務所) ・ 荻原、鈴木、金子、濱野、岩田および現地から香村 (味の素)、阿部 (サントリー) が参加
11, 12 月	SEA Project 会合 (12/3)、タイ現地調査検討他 SEA Project タイ現地調査実施 (12/13 ~ 14) ・ 荻原、岩田および現地にて香村 (味の素)、阿部 (サントリー) が参加 ・ JETRO タイ事務所を訪問、情報収集

ILSI Japan 活動報告 < 2009 >

情報委員会

【情報委員会】

1, 2 月	<p>委員会開催 1 回 (1 月)。 日常業務としてのホームページ更新。 「栄養学レビュー」誌 17 巻 2 号 (通巻 63 号) 発刊。3 号 (通巻 64 号) の翻訳・編集作業進行中。女子栄養大との販売契約作業進行中。 Newsletter 2 号編集作業進行中。</p>
3, 4 月	<p>委員会開催 2 回 (3 月および 4 月)。 日常業務としてのホームページ更新。 「栄養学レビュー」誌 17 巻 3 号 (通巻 64 号) の翻訳・編集作業進行中。17 巻 4 号 (通巻 65 号) の翻訳作業進行中。女子栄養大との販売契約作業進行中。 Newsletter 2 号編集作業進行中。</p>
5, 6 月	<p>委員会開催 2 回 (5 月および 6 月)。 日常業務としてのホームページ更新。会員専用対応検討。 「栄養学レビュー」誌 17 巻 3 号 (通巻 64 号) 発刊。17 巻 4 号 (通巻 65 号) の編集作業進行中。Blackwell 社との販売契約更新作業進行中。 Newsletter 2 号編集作業進行中。</p>
7, 8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会開催 1 回 (7 月)。 ・日常業務としてのホームページ更新。会員専用対応検討。 ・「栄養学レビュー」誌 17 巻 4 号 (通巻 65 号) 発刊。18 巻 1 号 (通巻 66 号) の編集作業進行中。Blackwell 社との販売契約更新終了。 ・Newsletter 2 号発行。
9, 10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会開催 1 回 (9 月)。 ・日常業務としてのホームページ更新。会員専用対応検討。 ・「栄養学レビュー」誌 18 巻 1 号 (通巻 66 号) の編集作業進行中。18 巻 2 号 (通巻 67 号) の翻訳・監修作業進行中。
11, 12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会開催 1 回 (12 月)。 ・日常業務としてのホームページ更新。会員専用対応検討。 ・「栄養学レビュー」誌 18 巻 1 号 (通巻 66 号) の発刊。 18 巻 2 号 (通巻 67 号) の翻訳・監修・編集作業進行中。 18 巻 3 号 (通巻 68 号) の翻訳作業進行中。 ・ニュースレター第 3 号作成作業進行中。

* 編集部会

1, 2 月	「イルシー」誌 96 号発刊。「イルシー」誌 97 号編集作業。
3, 4 月	「イルシー」誌 97 号編集作業。
5, 6 月	「イルシー」誌 97 号発刊。98 号編集作業中。
7, 8 月	「イルシー」誌 98 号発刊。99 号編集作業中。

9, 10 月	<ul style="list-style-type: none">・「イルシー」誌 99 号および 100 号編集作業中。・ 100 号発刊に向けてイルシー誌に関する座談会を 2 回開催（9 月）。
11, 12 月	<ul style="list-style-type: none">・「イルシー」誌 99 号の発行。・ 100 号編集作業中。

【ILSI Japan 総会】

1, 2 月	<p>ILSI Japan の平成 21 年度通常総会が 2 月 17 日に昭和女子大学で開催された。</p> <ol style="list-style-type: none">1．定足数確認と開会宣言 正会員総数 81 名の内、出席正会員 29 名、書面表決正会員 27 名、合計 56 名が出席しており、本総会は成立することが報告された。2．理事長挨拶 木村理事長より Tucson で開催された ILSI 本部総会で肥満に関する議論が活発に行われたことが報告された。3．議長選任 定款に基づき出席した正会員から味の素（株）の山口隆司氏を議長に選任した。4．議事録署名人選出 議事録署名人として、ネスレ日本（株）の渡辺寛氏、（株）ミツカングループ本社清水精一氏が選出された。5．審議の事項と経過の概要および議決の結果<ol style="list-style-type: none">第 1 号議案 平成 20（2008）年度事業報告書案承認の件 議案 1 資料「平成 20（2008）年度事業報告書案」に基づき事業報告を行い、採決に入り、同議案は承認された。第 2 号議案 平成 21（2009）年度事業計画書案承認の件 議案 2 資料「平成 21（2009）年度事業計画書案」に基づき事業計画の内容が説明され、その中で ILSI Japan の 30 周年記念事業として 2011 年に開催する第 6 回「栄養とエイジング」国際会議に対する会員の協力が呼びかけられ、同議案は承認された。第 3 号議案 平成 20（2008）年度決算報告書案承認の件 議案 3 資料決算財務諸表に基づき、決算報告があり、町田千恵 子監事の監査報告の後、同議案は承認された。第 4 号議案 平成 21（2009）年度収支予算書案承認の件 議案 4 資料「平成 21 年度収支予算書案」に基づいて予算案の説明があり、より一層の経費の節減、収入の増加の努力が必要であることが強調され、同案は承認された。第 5 号議案 定款の変更（案） 議案 5 の資料に基づき、理事の定数を 15 人に増やすと同時に 敏速な選任を行うため、理事の選任を総会から理事会に変更する内 容を始めとした定款の変
--------	--

	<p>更の説明の後、同案は承認された。</p> <p>8．報告事項</p> <p>1) 本部総会報告</p> <p>2) 東京大学 ILSI Japan 寄付講座 5月13日に東京大学弥生講堂にて開催される「第 期成果報告会および第 期に向けて」の公開シンポジウムへの参加の呼びかけがあった。</p> <p>3) ILSI Research Foundation ILSI Research Foundationの内容とGlobal Threshold Projectをサポートするための資金の提供の呼びかけがあった。</p>
3, 4月	
5, 6月	
7, 8月	
9, 10月	
11, 12月	

【事務局】

1, 2月	特になし
3, 4月	<p>平成21年4月1日付けで、サントリー株式会社を退職された岩田修二氏が ILSI Japan に勤務いただけることになりました。</p> <p>岩田氏には食品安全研究会担当の事務局次長として食品安全調査研究部会、食品アレルギー研究部会、食品微生物研究部会、食品リスク研究部会、香料研究部会をリードしていただくとともに、国際協力委員会を担当していただきます。</p> <p>なお、前食品安全研究会担当事務局次長でありました峯孝則氏には、引続き ILSI Japan のお手伝いを頂くことになりました。</p>
5, 6月	特になし
7, 8月	<p>8月6日に食品産業の有志会社による一般社団法人「食と環境連絡会議」が設立された。「食と環境連絡会議」は特に東アジアにおける共存共栄を目指して社会貢献活動を支援し、日本の技術力を広める支援を行う。ILSI Japan CHP はこの新しい組織から積極的支援を受ける。</p>
9, 10月	特になし
11, 12月	特になし